

平成24年5月17日

保護者の皆様

貝塚市立北小学校
校長 富田 高弘

金環日食時の登校について（お願い）

新緑の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、いよいよ金環日食が、来週の月曜日に迫ってきました。大阪で見られるのは282年ぶりということで、この貴重な機会を子ども達にとって有意義なものにしたいと学校では準備を整えているところです。登校に際して、注意をしていただきたい点がありますので、ご家庭でも子ども達にお伝えいただければと思います。

- 5月21日（月）、**登校時刻は7時です。（雨天や曇りでも同じ時刻です。）**
※雨天等の場合は、金環日食などのビデオやテレビ中継を見ながら学習します。
また、日食観察用グラスは、学校で用意をしていますが、数に限りがありますのでおうちにある人は持って来てください。
- 交通事故の危険がありますので、**観察しながら登校しないように注意してください。**

金環日食が観察できる時間は、7時27分から7時31分までの約3分半くらいですが、日食自体は、6時16分ぐらいから始まり、8時53分ぐらいまで続きます。善兵衛ランドから、その時の注意しなければならない点について、是非保護者の方にも伝えてほしいというお話もありましたので、次の点についてご注意ください。

＜観察するときの注意＞

- 直接、太陽を見ない！**
 - ・観察する時は、必ず日食観察用グラスを当ててから太陽を見る。
顔を下に向け、体を太陽の方向に向ける。それから日食グラスを目に当て、顔を上げて太陽を見る。
※この時、なかなか太陽を見つけられないことがあります、それでも絶対に日食グラスを目からはずしてはいけません。
- 続けて観察してよい時間は、2～3分！**
 - ・目を休めながら観察します。
- 観察を終えた時も、すぐに日食グラスをはずさない！**
 - ・必ず顔を太陽からはずし、それから日食グラスをはずします。
※日食グラスを当てて太陽を見ているときは、目の瞳孔がかなり開いています。そのまま強い光の太陽を見ると、より危険です。
- 色つきの下敷き・すすをつけたガラス・サングラス等を使って太陽を見ない！**
 - ・これまで上記のものを使って日食を観察された経験がある方もいるかと思いますが、目にはかなりの負担になります。特に、子どもの目の水晶体は濁りがなく、太陽の光によって網膜が傷つくことがあるとのことです。